

１１月園だより

令和８年１１月１日
第三ひもんや保育園園長

秋の風が心地よく、子どもたちの笑顔もいっそう輝く季節になりました。

運動会を終え、子どもたちが一回りも二回りもたくましくなった姿に、大きな喜びを感じています。これからも、秋の自然に触れながら、一日一日を大切に過ごしていきます。

先日行われたお楽しみ会で、職員が劇と合奏を披露しました。会が終わるとすぐに４歳児クラスの子ども達が可愛らしい帽子と部屋にある玩具を楽器に見立て演奏しながら事務所に来てくれました。職員の演奏をまねて、子どもたちは「ガチャガチャバンド」を楽しんでいるようです。身近なものを楽器に見立て、音を鳴らしたり、リズムに合わせて体を動かしたりと、楽しそうな姿が見られます。また、５歳児クラスでは、空き箱を使ってカスタネットやギターを作っています。ホールで演奏会を開催するとのことで「きてね」とチケットを配っていました。こうした遊びの中で広がる表現する楽しさや、友だちと一緒に楽しむ気持ちを、これからの発表会にもつなげていきたいと思います。

１１月の行事予定

乳児お楽しみ会
交通安全教室
避難訓練・身体計測

１２月の行事予定

にこにこども会
避難訓練・身体計測

運動会ごっこ



「せーの」で一人ずつくぐっていきながら、大縄とびを何度も繰り返し楽しんでいます。



にじ組が先生になって「かまえ」の掛け声をかけると、しずく組、おひさま組の子どもたちもポーズを真似ています。「すっとんすっとん・・・」と竹打ちも楽しそうに打ってい



おひさま組が披露したパラバルーンをやってみたかった子どもたちです。バルーンが広がるとすぐに集まって、皆で曲に合わせてバルーンを動かしています。

戸外遊びの様子（乳児クラス）

０歳クラス児（ことり組）

園庭に出ると、自分の行きたいところへ思い思いに向かっていく姿が見られるようになってきました。ハイハイをしていると砂が手のひらにくっつきます。手のひらについた砂を触ってはもう一度握ってみたり指先でなぞってみたり、見つけた小石を指でつまんではゴツゴツとした固い感触を楽しんだりしています。少し離れた場所にいる保育士と目が合うと、ニヤッと笑って追いかけてきました。「ここまで来られたね。嬉しいね」と伝えるとニコニコと嬉しそうに笑っています。

子どもの“触りたい”“行きたい”といった思いを見逃さず、保育士も同じ目線になって子どもの見つけた発見や喜びに共感していきます。



１歳児クラス（りす組）



散歩先の碑文谷公園の芝生の広場では、気になるものを見つけると立ち止まって触れてみたり、じっと見つめたりしながら探索を楽しむ子ども達です。衣服にくっつく“くっつきむし”（植物の種子の俗称）を見つけ、自分や保育士の洋服にくっつけては「ほら」と不思議そうに眺めたり、夢中になって触れてみたりする姿があります。後日、同じ広場に散歩に行くと、自分でトゲトゲしているものを選んで取っては、「ほら」と保育士に見せてくれたり、保育士の洋服に何個もつける子もいました。一人ひとりの「見つけた」「やってみたい」という気持ちに寄り添いながら身近な自然に触れ、季節の変化を感じながら、これからも戸外遊びを楽しんでいきたいと思います。



２歳児クラス（こじか組）

碑文谷公園に着くと、「むっくりくまさんしよう」とある子が言うと、さっそく子どもたちが追いかけるくまさん役とその周りに手をつないで回る子どもたちとに分かれて遊び始めました。「むっくりくまさんむっくりくまさん…」と歌い終わったところで追いかけっこが始まる瞬間が子どもたちの楽しみのようです。ある回ではみんながくまさん役になってしまいました。するとそれに気づいた子が「いいこと思いついた。手をつなぐ人がいなきゃ」と言って立ち上がり、両腕を広げています。友だちもそれに気づき、立ち上がり手をつないでまた遊びが始まりました。タッチしたらくま役が変わるというルールまでは分からないのですが役割を交代しながら追いかけることや追いかけられることを両方楽しむ子どもたちです。

子どもたちの気づきや友だちと遊ぶことが楽しいと思う気持ちを丁寧につないでいきながら、ルールに触れるきっかけにしたり、保育士も一緒に考えながら楽しんでいきたいと思います。

